

今回の数字

71.7%

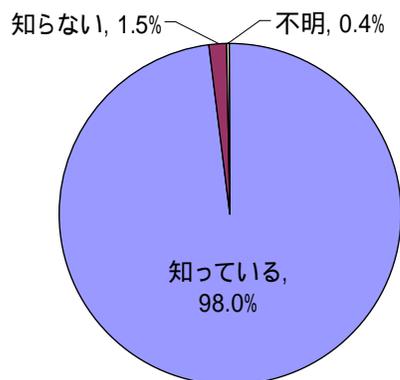
作成日：平成 21 年 11 月 11 日
 作成元：坂井市役所 情報政策課
 TEL:0776-50-3014
 FAX:0776-67-7509
 MAIL: jyouhou@city.fukui-sakai.lg.jp

～レッツ！地デジ～

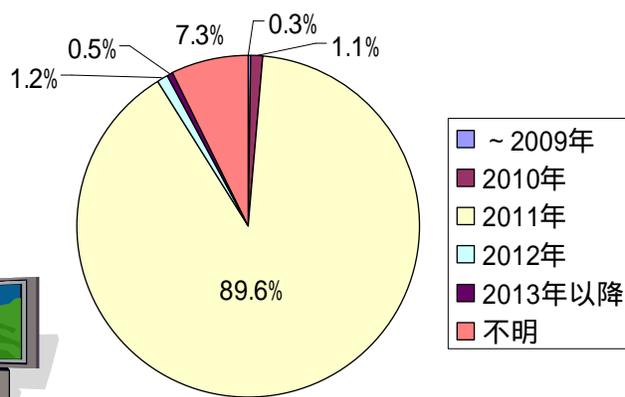
2011年7月24日に、テレビのアナログ放送は終了しデジタル放送へと切り替わります。みなさんはもう地デジの準備お済みですか？最近によくCMでもこの言葉がよく聞かれるようになりました。今回は、このテレビについての数字を見ていきます。

総務省は、この度、地上デジタル放送の浸透度調査（平成21年9月実施）の結果を公表しました。これによると、アナログ放送が終了することを知っている割合は98.0%で、ほぼ全員が分かっていることとなります。（図1参照）また、2011年にアナログ放送が終了することを知っている割合は89.6%で、終了時期の認知度も非常に高い水準にあることが分かりました。（図2参照）

（図1）アナログ放送停波の認知度



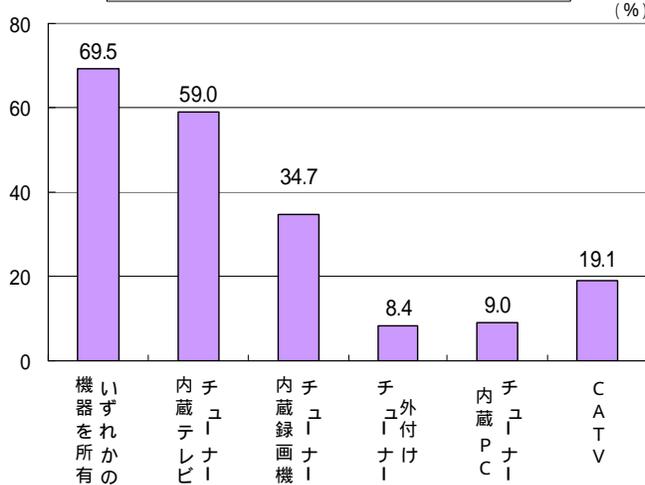
（図2）アナログ放送停波時期の認知度



資料：総務省地上デジタルテレビ放送に関する浸透度調査（平成21年9月）

地上デジタル放送を見るための受信機の世帯普及率は69.5%と半分以上の世帯で視聴可能となっています。（図3参照）なお、地域別に見た受信機の世帯普及率をみると、福井県は71.7%となっており、全体平均より若干高くなっています。（表1参照）

(図3) 地上デジタル放送対応受信機の普及状況



(表1) 地デジ放送対応受信機世帯普及率 都道府県別の状況

割合の高い順	県名	普及率
1	奈良県	78.4%
2	石川県	77.1%
3	岡山県	76.7%
...
18	福井県	71.7%
...
47	岩手県	55.2%

資料：総務省地上デジタルテレビ放送に関する浸透度調査 (平成 21 年 9 月)

かつて、冷蔵庫、洗濯機と並び、戦後の新しい生活の象徴として「三種の神器」と呼ばれたテレビは、登場以降、好景気やオリンピックを契機に爆発的に売れ、生活の一部となっていきました。そして、現在のテレビの普及率は 99.4% となっており、ほぼ全世帯が持っているまで普及しました。(表 2 参照)

(表 2) 主要耐久消費財等の普及率

品目	普及率
カラーテレビ	99.4%
携帯電話	90.2%
食器洗い機	28.8%
パソコン	73.2%
デジタルカメラ	69.2%
乗用車	83.2%
ルームエアコン	87.9%
システムキッチン	59.2%
温水洗浄便座	69.1%

資料：内閣府消費動向調査(平成 21 年 3 月)

2011 年まではあと約 600 日もありますが、その時に「見られない！」なんてことにならないよう早めの準備を心がけましょう。

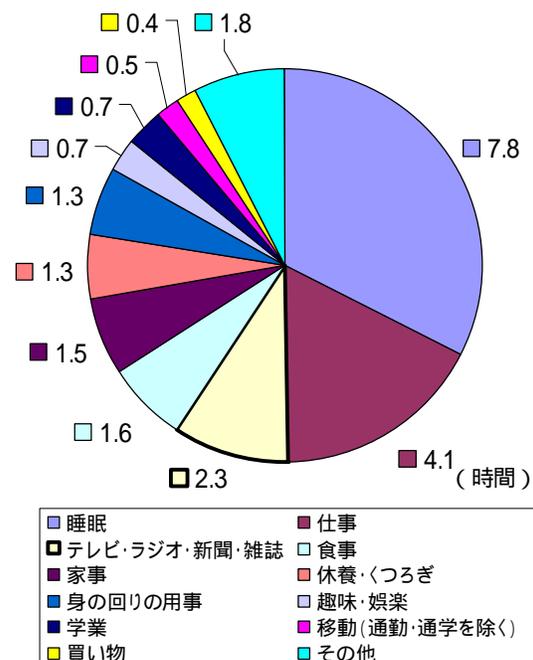
地デジの分からないことは、『福井県テレビ受信者支援センター (電話 0776-29-1091)』へお問い合わせください。

今回の数字の答え : 福井県における地上デジタル放送を見るための受信機の世帯普及率(平成 21 年 11 月)

また、福井県民の 1 日の行動の平均時間を調べた社会生活基本調査によると、テレビや新聞などに費やす時間は 2.3 時間で、睡眠、仕事、に次いで多いことがわかります。(図 4 参照)

このように生活の中心の一つにあるテレビですが、地上デジタル放送が開始されることにより、今後、介護サービスの申込みや各種公共施設の予約などが可能になるなど、より幅広い使い方が期待されています。

(図 4) 行動の種類別総平均時間(福井県)



資料：総務省社会生活基本調査(平成 18 年)